

市民を支える開かれた 親しみやすい行政体制の確立

21世紀の行政[決まりを守る平和なまち]

行政と市民が一体となった、

開かれたまちづくり。

21世紀へむけて、いまはばたきます。



今日の行政に対する市民ニーズは、複雑化、多様化、専門化の傾向にあります。まちづくりは市民と行政が一体となって進められるべきものであり、市民の積極的な市政参加が不可欠であります。

そのためには、市民の意見交換の場づくりや新たな政策形成過程への参加促進のため、広報の発行などを通して、市民の意識の高揚を図りながら市民ニーズに的確に対応できる体制づくりを積極的に進めています。

また、消防、救急医療体制の整備など広域行政サービスにも取り組んでおりますが、高齢化、少子化社会に向けた新たな社会の構築が求められており、長期展望と広域的視野に立った事業を推進しています。

また、市民サービスは市民福祉の向上を基本に行政需要の増大、多様



化、高度化など時代の変化に即応した組織・機構づくりに努力しています。

また、財政運営については、最小の経費で最大の効果をあげる観点から行政経費の節減を図り、効率的な運営に努めてまいります。

市議会は市政運営の意思決定機関であり、市民を代表する23名の議員で構成されています。市議会では、条例の制定、予算の決定など市民の生活に直接関連する重要事項を議決するほか、市民からの請願、陳情を審査するなど市民生活の向上と明るく住みよいまちづくりを目指し、意欲的な活動を展開しています。行政と議会は市政発展の両輪となり、市民の声を市政に反映させながら、民主的な行政を進める重要な役割を担っています。



The Invitation of 21 Century
for Kitakata City.

ネクスト、喜多方